

お 知 ら せ
平成 20 年 2 月 27 日
気 象 庁

気象庁ホームページの黄砂情報ページを改善します ～ 3日先までの予測期間延長と濃淡表示の開始 ～

気象庁では、本日(2月27日)から気象庁ホームページの黄砂予測図について、予測期間を3日先まで延長して発表します。また、その予測図には黄砂の濃さについても表示します。

気象庁では、平成16年(2004年)1月から気象庁ホームページにおいて、黄砂観測実況図及び黄砂予測図を黄砂情報として提供しています。

このたび、黄砂予測モデルの精度向上などの状況を踏まえ、本日(2月27日)から以下のような黄砂情報の改善を行います。

1. 黄砂予測図の改善点

○黄砂予測期間の延長

これまで翌日までであった予測期間を3日先まで延長します。

○黄砂の濃さに関する情報の提供

地表付近の黄砂濃度に対応した色分けを行います(図1)。

2. 黄砂観測実況図の改善点

目視観測で黄砂を観測したときの視程距離(水平方向の見通しの距離)の色分けを行います(図2)。これにより黄砂の現状を把握しやすくなります。

参考：黄砂情報のURL

- ・黄砂予測図

<http://www.jma.go.jp/jp/kosafcst/index.html>

- ・黄砂観測実況図

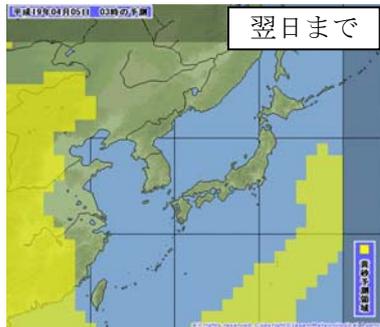
<http://www.jma.go.jp/jp/kosa/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

地球環境・海洋部環境気象管理官

電話：03-3212-8341（内線：4162）

旧表示



新表示

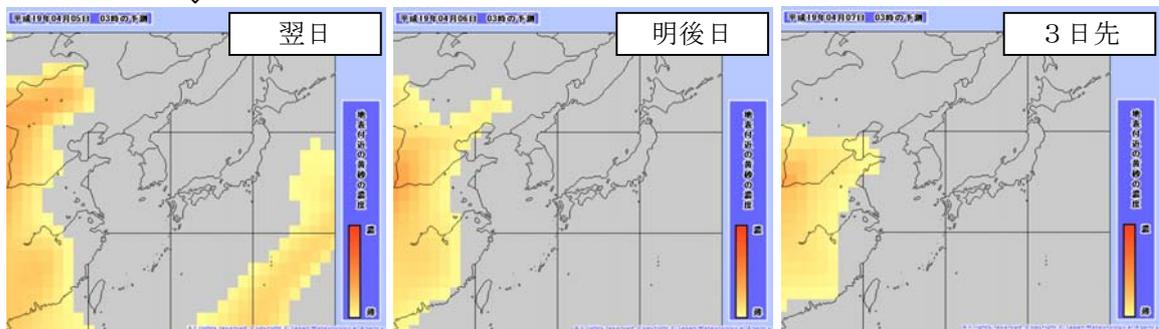


図1 「地表付近の黄砂の濃度の予測図」イメージ

「黄砂予測図」を3日先まで延長し、黄砂の濃度情報を加えました。視程の悪化や、洗濯物や車の汚れなどの黄砂の影響を考える際の参考として利用することができます。

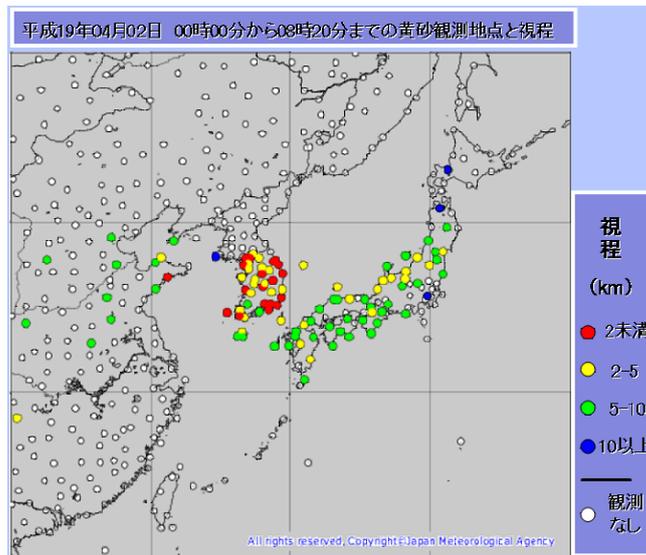


図2 「黄砂観測実況図」イメージ

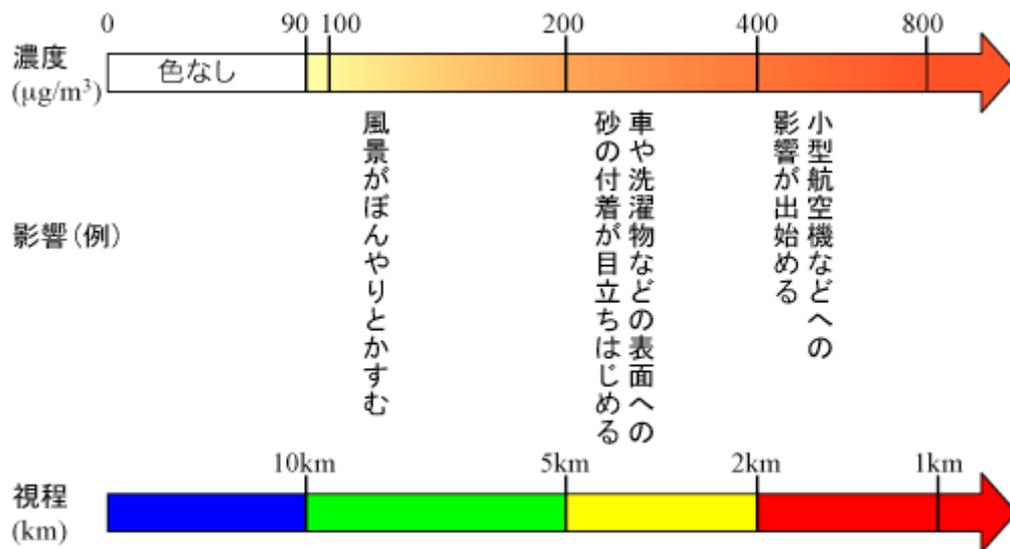
新たに、黄砂が観測されている観測地点の視程（水平方向の見通しの距離）の情報を追加しました。当日を含めて過去7日分の実況図を見ることが可能です。表示される視程は、表示日の黄砂観測時における最短距離になります。

日本の観測地点については、マウスカーソルを各地点に重ねると、地点名が表示されます。

黄砂の濃度と視程の関係について

地表付近の黄砂の濃度が高くなると、洗濯物や車の汚れなどのほか、視程が悪化することで航空機の運航に影響が生じることもあります。

下の図は、数値予測モデルで計算した0.1マイクロメートルから10マイクロメートルの粒径の黄砂粒子による地表付近の黄砂の濃度と、国内の气象台等で観測者が目視で観測した視程との対応を統計的に調べたものです。ただし、地表付近の黄砂の濃度と視程の関係は、観測される地点での黄砂の粒の大きさや湿度の違いに左右されるため、必ずしも一定ではありません。



地表付近の黄砂の濃度と視程およびその影響のおおまかな関係